

巻頭言

新年度を迎えて ～ GBRC ビジョン 2030 の策定 ～

一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 上谷 宏二

平素より当法人の各事業に対して御高配を賜り、誠にありがとうございます。

当法人は1964年の創設以来、建築の質の向上を図り、安全で安心な国民生活の場の構築に努めることを目的に、各種事業を展開して参りました。ひとえに、顧客の皆さまの御愛顧並びに関係各位のご理解ご支援の賜物であります。改めて心よりお礼申し上げます。他方、これからの国内の建設市場を見通すと、新設から社会インフラ再構築へと視点が移ってきました。また、2030年に向けてはSDGsやESGの視点も提唱され、DXが推進されるなど、まさに世界的なパラダイムシフトが始まっており、各企業や行政においても精力的に様々な新しい取り組みが行われています。

こうした中、当法人においても新たな長期経営計画をまとめ、「GBRC ビジョン 2030」を策定しました。2030年に向けたGBRCのあるべき姿として、全職員が生き活きと活躍し、試験研究・製品認証・確認評定・構造判定の総合力を発揮することにより、わが国が直面する社会課題の解決に貢献する、試験設備を持つ第三者機関として他の追随を許さない唯一の存在を目指していくこととし、その具体の行動計画「GBRC アクションプラン 2030」を作成しました。

2030年といえば、国連総会において2015年に採択された「持続可能な開発目標：SDGs」の達成目標とされる年でもあります。より良い社会・持続可能な社会の実現に大きく寄与する取り組みであり、GBRCとしても建築業界全体とともに貢献を高めていく所存です。

「GBRC ビジョン 2030」の内容やSDGsに向けた当法人の取り組みに関しては、今後、当法人ホームページや当機関誌においても情報発信を行って参ります。

また、当「機関誌 GBRC」についても、本号より表紙デザインを刷新し、内容についても大幅なりニューアルを行いました。読者の皆さまに向けて、これまで以上に、適時適切かつ有益な技術情報をお届けして参ります。引き続きご愛読頂けると幸いです。

1964年の法人創設以来の歴史と実績を尊重しつつ、進取・革新の気風をもって新規事業にも取り組んで参ります。これまで以上に社会への貢献を果たし、お客様に喜ばれる事業を展開していきたいと考えております。

新しく歩み出したGBRCに対してこれまで以上にご愛顧を賜りますよう、また当法人の諸事業に対して温かいご支援ご協力を頂きますよう、今後とも宜しく願い申し上げます。